



# ボタニカルニュース ～牧野公園情報～

## ◆妖精たちのダンス♪

寒さが一番厳しい季節、この時期に芽吹き、夏には葉っぱも枯れて姿を消してしまふ『スプリング・エフェメラル』と呼ばれる春の妖精たち（A～C）も少しずつ踊り始めました♪  
また、牧野博士がこよなく愛したバイカオウレンや、牧野博士が命名したセリバオウレンが見頃を迎えています。  
寒くてコタツが恋しいですが、防寒対策をしっかりとって、この時期にしか見られない花たちに会いに来てください☆  
そして、お待ちかね！そろそろ河津桜など、早咲きの桜の季節もやってきます♪

## ◇2月に見頃のお花♪

A. ユキワリイチゲ（雪割一華）  
キンポウゲ科イチリンソウ属。  
花：2～3月頃。

B. フクジュソウ（福寿草）  
キンポウゲ科フクジュソウ属。  
花：2～3月頃。

C. セツブンソウ（節分草）  
キンポウゲ科セツブンソウ属。  
花：2～3月頃。

D. バイカオウレン（梅花黄蓮）  
キンポウゲ科オウレン属。  
牧野博士がこよなく愛したお花。  
花：1～3月頃。

E. セリバオウレン（芹葉黄蓮）  
キンポウゲ科オウレン属。  
牧野博士命名種。  
花：2～3月頃。



# まちまるごと植物園 ～まちの植物情報～

machimarugoto syokubutsuen

## ◆「みんなで育てよう！山野草の種まき会＆早春の牧野公園散策会」開催♪

「まちまるごと植物園」事業の一つとして、さまざま山野草を使つての種まき会を開催します☆  
種まきした鉢をお家で育て、その苗は、ご自宅に植えてもよし、地域の方が見てくれる所に植えるもよしです！できれば育てた苗のいくつかを提供していただき、みんなの苗で町内への植栽会を開催したいと思ひます♪  
種まきの後は、皆で早春の花を見ながら散策します！  
参加は無料☆みんなの愛情こもった苗で、佐川町を素敵な植物でいっぱいにしていきましよう！ご参加を心よりお待ちしております♪

## ★★バイカオウレンの苗プレゼントもあります★★

日時2月16日（日）10～12時

◆集合場所 牧野公園・花見棟

◆費用 無料 ◆定員 30名程度

◆申し込み締切 2月10日（火）

園・申込先

チーム佐川推進課 22・7740  
さかわ観光協会 20・9500

## ◆牧野公園写真コンテスト写真大募集！

4月24日は牧野博士のお誕生日。その生誕祭イベントの一つとして、今年も「牧野公園」をテーマに写真コンテストを開催します♪応募期間は3月1日～4月5日（必着）。詳細は各所に設置してあるチラシや、佐川町ホームページをご覧ください。ご応募お待ちしております♪  
☆4月24日（金）～26日（日）  
牧野富太郎生誕祭イベントを行います！



詳細をお楽しみに♪

# 青山文庫だより

## 「川田豊太郎」をご存じですか？

みなさんは「川田豊太郎（以下、豊太郎）」という人物をご存じですか？青山文庫に来た事がある方は目にしたかもしれませんが、青山文庫の母体となる川田文庫を創設した人で、「青山文庫の父」ともいえる人です。

本年度は、豊太郎が生まれて150年にあたる記念年ですので、これより川田豊太郎生誕150年記念展「川田豊太郎と青山文庫」を開催します。

豊太郎が生まれたのは明治2（1869）年ですが、生家の入吉屋は、江戸時代に栄えた佐川の豪商の一家で、その財力を地元佐川の発展のために資した事で知られています。

「長男は外に出さず地元にとどめる」という家の意向もあり、豊太郎は県外に出ず、佐川郵便局の局長や町会議員をつとめ、実業家として、地方政治家として功績を残します。

そして、その一方で、地元の名士として、住民憩いの場となる公園「和楽園」や、図書館「川田文庫」をつくり、佐川の文化発展に大きく寄与します。

この川田文庫は高知県発の私設図書館であり、本が身近ではなかった時代に、多くの人々に本と触れあえる機会を提供した功績は高く評価されています。

また、川田文庫は、読書や本の貸し借りという基本的な図書館機能の他に、当初から一種の知的サロンのような位置づけを同時に持っていた点が注目され、結果的に青山文庫となった後は、博物館要素を強め、佐川にとどまらず、全国的な文化拠点として発展してゆきます。

豊太郎は、川田文庫が青山文庫へと変身を遂げた後も、その運営に大きく関わり、死去するまで青山文庫の行く末を案じていたといえます。

今回の記念展は、青山文庫の歴史の流れの中に豊太郎を位置付けて紹介する内容となっております。地元の先人である豊太郎の功績を是非みなさんに知っていただきたいです。（青山文庫 藤田有紀）

## 展示案内

○記念展「川田豊太郎と青山文庫」

○冬の企画展「志士たちの遺墨」

1月18日（土）～3月8日（日）

※小展示「佐川ゆかりの人びと」・小展示「江戸時代のお雛さま」も同時開催しています。

# 文芸

## 川柳

腹八分 二分のカットに 落ち着かず  
不器用に 生き余生への かすり傷  
七草の 野生の味が 胃に優し

「後ろつかえてますよ」

タモリより トイレの前の お爺さん  
リサが気になる ブラタモリ  
東 聖（ペンネーム）

## 俳句

頬を打つ 風の冷たし 橋を行く  
味元 佐知子  
冬の雨 帳簿に見入る 媪（おうな）かな  
東 聖（ペンネーム）

## 短歌

華やける 他（ひと）の流れに 惑はざれ  
吾には吾の 速さあるべし  
東 聖（ペンネーム）  
秋山に色づく紅葉燃えたちて  
舞台上に映える屏風のごとき  
親離れ子離れできぬ鈴なりの  
柿しがみつき元旦明け  
桑の実食べ紫色に染まる舌  
昆虫嫌いの母鬼の形相  
福寿草（ペンネーム）

## 川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※4月号への掲載を希望される方は3月1日（日）まで  
投稿方法：氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。